

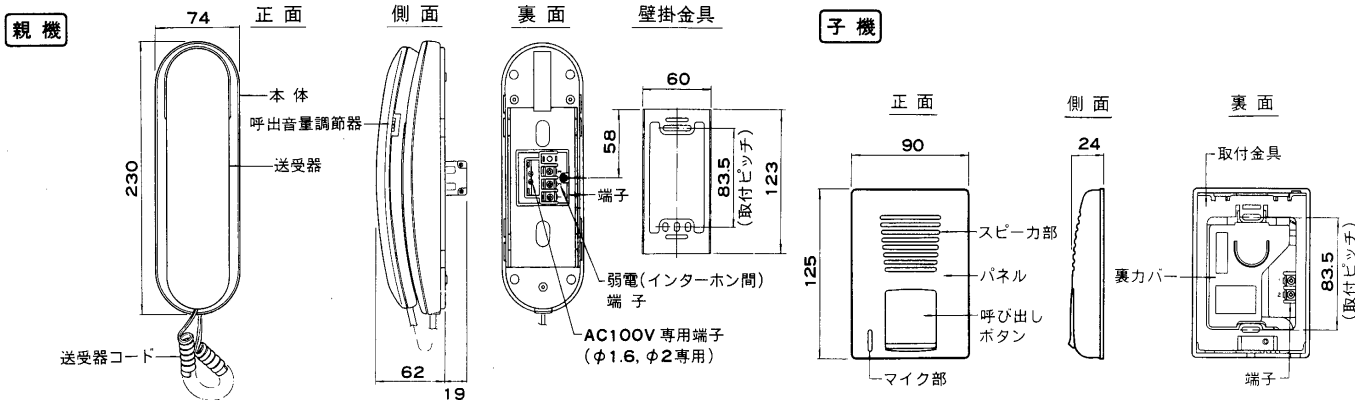
TOSHIBA 東芝インターホンドアホンエースUシリーズ取扱説明書

対象機種

電源直結式親子セット：HJU-1PUD(H)-S1…親機HJU-1PU(W)⊕と子機HJU-D(H)〔シティグレーⅠ〕のセット
 電源直結式親子セット：HJU-1PUD(K)-S1…親機HJU-1PU(W)⊕と子機HJU-D(K)〔黒〕のセット

このたびは東芝インターホン〈ドアホンエースUシリーズ〉をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえと大きさ (単位：mm)



特にご注意ください

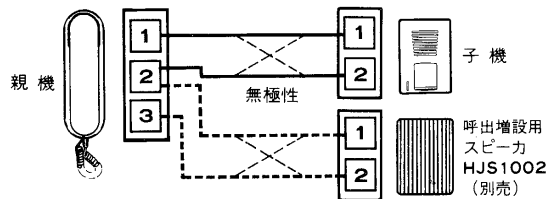
- 本機の配線工事は電気工事士の資格をもった人におまかせください。一般の方の工事は法律で禁じられています。
- AC100V用のチャイムの配線は親機と子機間の配線に、AC100Vがかかっている場合があります。そのまま使用することはできません。
- 不要な電波雑音をさけるため、空中配線、AC100V配線との並行配線はおやめください。
- 電源は必ず家庭用のAC100Vの屋内配線に接続してください。家庭用以外の電源線に接続しますと、雑音が発生したり故障することがあります。
- 本体は分解しないでください。

取り付けかた

- 電気設備技術基準に基づき、低圧屋内配線と弱電線(子機への配線等)との間に堅ろうな階壁を設け、ボックス内に低圧屋内配線と弱電線(子機への配線等)とを混触しないように取り、施工してください。金属製ボックスを使用するときは、特別第3種接地工事が必要です。

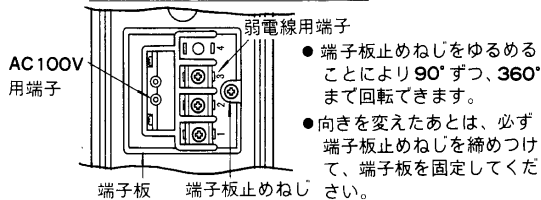
① 組み合わせ接続例

- 別売の呼出増設用スピーカ(HJS1002)を接続しますと、親機から離れた場所でも、呼び出し音を聞くことができます。(通話はできません。)



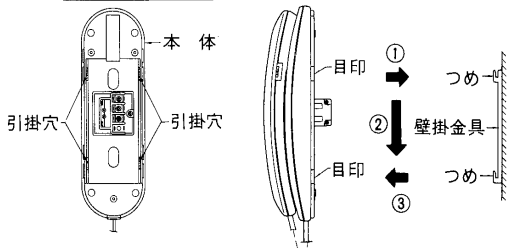
② 親機の取り付けかた

- ① 端子板を弱電線、AC100V線の引き込み方向に合わせる場合

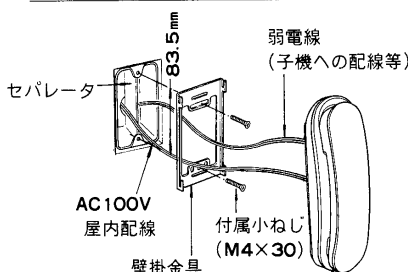


- 端子板止めねじをゆるめることにより90°ずつ、360°まで回転できます。
- 向きを変えたあとは、必ず端子板止めねじを締めつけて、端子板を固定してください。

④ 壁掛金具に掛ける手順



② 1個用スイッチボックスへの取付

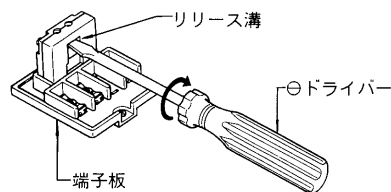


- 結線が完了した後、子機への配線と電源配線を、スイッチボックスのセパレータで分離させ、混触しないように注意しながら次の手順で取り付けます。
- ① 本体裏面の引掛穴に、目印にあわせて壁金具のつめを入れ
- ② 下方に引いてください。
- ③ 手前に引いて確実に掛っていることを確認してください。

③ 電源線の接続方法

1. コネクタ表面にあるストリップゲージ(長さ14mm)に合わせて被覆を剥ぎます。
2. 電線をコネクタに差し込んで完了です。(電線は芯線が見えなくなるまで十分に押し込んでください。)なお、確認は引張って抜ければ接続しています。

- 取りはずし方法
 ⊖ドライバー先端をリリース溝へ止まるまで差し込み、下図の矢印方向へ軽くこじり電線を引抜くとはずれます。



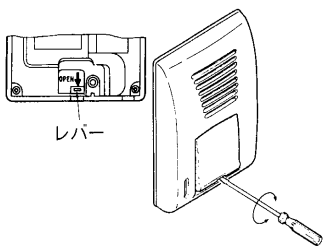
工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

取り付けかた

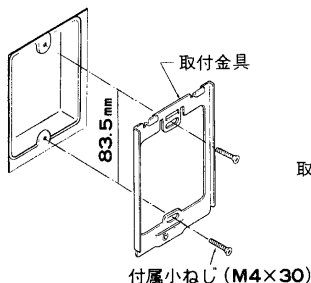
③子機の取り付けかた

①呼び出しボタンを開きます。
取付金具を取り外し、本体裏側のOPEN↓の表示にしたがって、レバーを動かし、呼び出しボタンを開きます。
※一度、壁等に固定した場合は、呼び出しボタンの下部にある凹部にマイナスドライバーを引掛けて、ドライバーをこじるか、または、回転させて呼び出しボタンを開きます。



②取付金具を付属ねじで固定します。

① 1個用スイッチボックスのとき



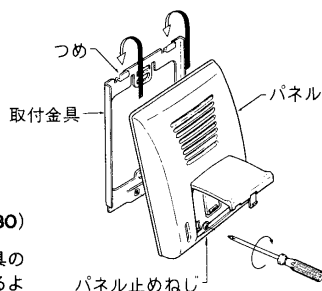
③端子に配線を接続したのち、付属金具の上部のつめをパネルの上部に引掛けるようにはめ、パネル止めねじを取付金具にしめつけて固定します。

④呼び出しボタンを元通りに閉め、ボタンが軽く動くことを確認してください。

※当社製以外のポスト灯には取り付けできないことがあります。その場合には、お買い求めの販売店またはお近くの東芝お客様相談センターにご相談ください。

② 柱や壁のとき

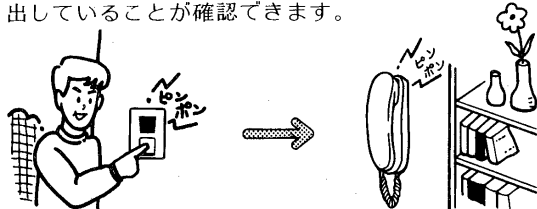
●付属木ねじ(φ4.0×45)を使用して柱や壁に固定します。



使いかた

■子機から親機の呼び出し

子機の呼び出しボタンを押しますと親機から呼び出し音(ピンポン)が鳴ります。
このとき子機からも呼び出し音が小さく聞こえ、呼び出していることが確認できます。



■呼出増設用スピーカ(HJS1002; 別売)を使用しますと、子機から呼ばれたときに呼出増設用スピーカからも呼び出し音(ピンポン)が鳴ります。(通話はできません。)

■呼ばれたら

呼び出し音が鳴ったら送受器をとりあげ、そのままお話しください。親機の送受器は正しくあて、特に送話口は口もとに近づけてお話しください。

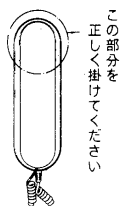


■親機から子機を呼び出すとき

親機の送受器をとり、そのまま呼びかけて直接子機を呼び出してください。

■通話が終わったら

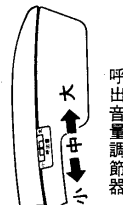
通話が終わりましたら送受器をもとのように正しく掛けてください。正しく掛けませんと子機から呼ばれても呼び出し音が鳴りません。



■呼出音量の調節は

送受器右側面の呼出音量調節器で大・中・小の3段階の調節ができます。お好みの音量に調節してご使用ください。

●呼出増設用スピーカの音量は呼出音量調節器の位置にかかわらず一定(大)です。



修理サービス

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様相談センターにご相談ください。なお、ご相談される場合は形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

ご注意とお願い

このインターホンの親機は屋内専用で-10℃～+50℃の範囲、子機は屋内屋外兼用で-25℃～+60℃の範囲で使用するように設計してあります。取り付けの際はご注意ください。

■親機は次に掲げる場所には取り付けしないでください。

- 電気・ガス・石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
- 直射日光のあたる場所。
- 製氷倉庫など-10℃以下になる場所。
- 風呂場など特に湿度の高い場所。
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い場所。
- 水や薬品がかかるおそれのある場所。

■子機は防雨形ですが、直接ホース

などで水をかけないでください。
直接水をかけますと故障の原因になります。



お手入れのしかた

- 本体はやわらかな布でからぶきしてください。汚れがひどいときは石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 機器をいためますのでガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふかないでください。

仕様

- 通話方式 親機：電話形同時通話式
子機：スピーカ形同時通話式
- 電源 AC100V 50Hz, 60Hz 共用 (電源直結式)
- 定格消費電力 待受時 1W, 最大時 2W
- 呼出信号 電子チャイム音(ピンポン)
呼出音量調節器付(3段切換式)
- 配線本数 2線(無極性)
- 通達距離

線種	公称断面積	0.3mm ²	0.5mm ²	0.75mm ²	2mm ²
	(本/mm)より線	12/0.18	20/0.18	30/0.18	37/0.26
(mm)単芯線	0.65	0.8	1.0	1.6	
距離(メートル)	150m以下	250m以下	350m以下	1000m以下	

- 設置場所 親機：屋内専用
子機：屋内・屋外兼用
- 色調 親機
HJU-1PU(W)……ホワイト
子機
HJU-D(H)……パネル：シティグレーⅡ
呼び出しボタン：メタリックブラック
HJU-D(K)……パネル：オフブラック
呼び出しボタン：メタリックブラック
- 外観材質 プラスチック
- 使用温度範囲 親機：-10℃～+50℃
子機：-25℃～+60℃